

# スペックの進化を凌駕する「名人の耳と腕」

新たな鼓動、躍動まで聴こえ、さらにワクワクする！！

今回のハイ・レゾリューション音源は、まさに、美しきルネサンスそのもの。

ハイ・レゾリューションと謳うからには、まず、同等スペックのマスターの存在が必要不可欠。  
しかしそれだけでは、データ上「数値が優れているだけ」に過ぎません。

やはり音楽です。

ひとこと「音質」と言っても、  
あくまでも「音楽そのものを理解したうえで」音質でなければなりません。

つまり、いくら宝石箱に豪華な外装を施しても、箱は箱。  
本質は、中身の宝石そのものを磨き上げなければ意味がない、ということ。

新劇場版以来、エヴァは、頼もしい名人を得ました。  
ハリウッドの女王こと、マスタリング・エンジニアのパトリスシア・サリヴァンです。

彼女の耳と腕が、エンターテインメント映像音楽において、絶対的であることは、  
ハリウッドのブロックバスタのほとんどのサントラ・アルバムのマスタリングを手掛けていること、  
それだけでも、じゅうぶん証明されているでしょう。

『序』『破』『Q』はもちろん、  
『新吹奏楽版』も『Piano Forte』も、すべてパトリスシアによるフィニッシュです。  
(林原めぐみ、高橋洋子、鷺巣詩郎の作品なども同スタジオ)

じつは『新吹奏楽版』と『Piano Forte』には、  
パトリスシアによる「旧TV版サントラの(リ)マスタリング」も、数曲収録しました。

そう、美しきルネサンスは、すでに始まっていたゆえ、  
今回の(リ)マスタリング作業は自然な流れであり、整合性を保つためにも、必然だったのです。

誤解を恐れずに、何度でも言いますが、  
いかなるハイ・レゾリューション(192KHz/24bit - 96KHz/24bit - 48KHz/24bit)であろうが、  
じつはデータ上の数値など、二の次。  
フィニッシュする者(人間)の「耳と腕」に尽きるというのが、  
まごうことなき本質であり、それは古今東西、普遍的。

宝石箱よりも、宝石そのものを磨き上げる、その「素晴らしき職人技、職人芸」を知らしめるためにも、  
今後、エヴァの音楽作品群を、  
あらゆるハイレゾリューション環境にて、  
どんどん、世に出していきます！！

2013年12月 鷺巣詩郎